

令和6年3月13日

足立区立東栗原小学校
校長 伊地知 広竹 様

足立区立東栗原小学校 開かれた学校づくり協議会
会長 北村 信也

令和5年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

- 素晴らしい学校教育目標（めざす学校像、児童・生徒像、教師像）を掲げ、その目標に向かって、教職員・児童・保護者・地域が一丸となり、子供たちを育成した一年だった。
- 教職員の皆さんの取り組み、日々の授業実践の熱心さに感謝している。
- 運動会や音楽会での発表の様子から、子ども一人一人の頑張る姿が見られた。
- コロナ禍の終息とともに、保塚町会夏祭りでのソーラン節など、ひがくりの子どもたちが地域で活躍する姿も見られた。
- 道徳授業地区公開講座では、教員のみなさんとの意見交換会でたくさん話しができたことがとても有意義だった。

<学力向上>

- 国語と算数2科目の正答率・通過率ともに70%前後。基礎的な内容の定着、課題解決をわかりやすく考えさせる授業の工夫・改善で、もっとよくなると思う。教職員全体での底上げの努力は、漢検の結果からも分かる。
- 学力向上アクションプランから、全学年でA Iドリルを効果的に使っていることが分かる。

<学習規律や生活規律>

- Y Yクラブでの放課後学習でも、文章を書くことが苦手な子が多いように感じている。校長講話の要点まとめなどを継続して行くことで、力が伸びていくように思う。

<学校・PTA・地域の連携>

- 学校、PTA、地域との連携は、時代の流れに合わせて変化させていくことも大事である。
- 学級で起きた課題を吸い上げる保護者の仕組みづくりについて、三者で確認していくことが大切である。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- あいさつについては、登校時の様子を見ても比較的できる子が多い。できるだけ子どもの方から先にあいさつの言葉で出てくるようにしていきたい。

3 その他